



「日間賀猿伝説と浮島とも子議員 と三波春夫」の関係

「この猿ひとたび野に放てば、正しき行いの人の心の奥深くに、最後まではびこる傲慢さの根を、根こそぎ引っっこ抜き、むしゃむしゃと食い尽くす。そうされた者みな、おかめひょっとことなり、笑い踊る。しかる後に天岩戸開き、天照大神おはします。めでたしめでたし」
これが日間賀島に古くから伝わる日間賀猿の伝説です(笑)！

先日、日間賀島のトイレ掃除に参加してまいりました。西三河掃除に学ぶ会主催の第10回記念大会で、全国の掃除大会で3本の指に入る素晴らしい大会(自社調べ)であり、感動的な講演会、和太鼓衆「悟空」の太鼓、日間賀の海の幸料理、2次会の紅白歌合戦、トイレ掃除、お昼のタコと大アサリカレーライスなどなど、まさに楽しみ盛りたくさん企画なのです。

昨年はテクアで事故を起こしてしまったので、自粛して安全対策に取り組んでいたのですが、今年は元テクアバイトの伝説の日間賀猿宮脇君、三河湾、小豆島、北海道制覇の100キロ山伏の田中さんと紀君、2日目の司会担当の私の最強の4人で臨み、気合を入れて天岩戸を開いてまいりました！

気合い入れと言え、実は西三河掃除に学ぶ会には峰脇さんという気合い入れのスペシャリストがいらっしゃいます。小学校や中学校でトイレ掃除を開始する前にこの方が、「いち、に、さん、だあー」のアントニオ猪木バージョンや「掃除の神様出てこいやー！」の高田総統バージョン、「気合だ！気合いだ！気合だ！」のアニマル浜口バージョン、「こっちを拭いてよ ハニー」のキューティーハニーバージョンなどで盛り上げ、素手でトイレを掴む恐怖の為に伏し目がちな子供たちの心を一気に全開にしてくださいませ！峰脇さんを見ていていつも感動するのは、話している本人よりも先に口が何かを語っていて、それを本人が後で耳で聴いて「オモロー！」と感じているところです。人格は別にして(笑)この時間差が実に神々しいのです。残念ながら今大会は体調を崩され不参加でしたが、次回は「3の倍数でやる気になる気合い入れ」を期待しております！皆さんもぜひ1度この方の気合い入れを体験してみたいでしょうか？職場でも十分に活用できます！！

さて、今回の日間賀島大会は記念大会であるだけに、講演会には参議院議員の浮島とも子さんをお招き致しました。浮島さんはニューヨークの名門デイトンバレエ団のプリマバレリーナだったにもかかわらず、阪神淡路大震災を自宅のTVで知るやいなや、すべての地位や名誉を投げ捨て、震災孤児の慰問や、子供たちのために無料で歌やダンスや演劇を指導し、劇団「夢」サーカスを設立し、ミュージカルを通して子供たちの心の復興に努められ、彼女の無垢な精神と行動に心打たれて支援を始めたボランティアは数百名にも及んだとのこと！

今回は子供たちも一緒に日間賀島に連れてこられていて、素敵なミュージカルを披露してくれました。そしてそのミュージカル中、浮島議員はイスには一切座らず、ずっと立ちっぱなしだったのですが、その立ち姿の美しいこと！まさに女神降臨！という感じでした。

「神々しさ」をテーマに語らせていただきましたので、今月の推薦曲は三波春夫さんの「世界の国からこんにちは」です。今回は歌詞よりも表情に注目してください。素晴らしい笑顔をされていた方です。

「お客様は神様です」という有名な台詞は、お金を払ってくれる客に媚びていると批判されやすいのですが、もしそうであれば絶対にあんないい表情は出来ないと思います。人間一人ひとりを大切に思う心が笑顔を輝かせていたと思います。いつも心に太陽を！見習いたいものです！ご安全に！

感謝 羽原篤史



